

三菱インバータ セールスとサービス

No. 1 5 7

汎用インバータ FREQROL - A500 シリーズ バージョンアップのお知らせ

平素より弊社汎用インバータをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

FREQROL - A500 シリーズインバータにて、より使い易さの向上を図るためバージョンアップをしますのでお知らせします。

1. バージョンアップ内容

より使い易さの向上を図るため、以下の機能を追加します。

No.	追加項目	内容	効果
1	RS-485 通信運転時 アクセス先選択機能	Pr.342 を追加	PU コネクタから RS-485 通信運転にてパラメータの読み書きを行った場合、E ² PROM へアクセスするか、RAM へアクセスするかを選択できます。
2	エラー内容	オプション異常 (E.1~E.3) を追加	通信異常内容が容易に確認できます。
3	通信用内蔵オプション装着時のエラー検出機能	Pr.500~Pr.502 を追加	通信用内蔵オプション (FR-A5NC) 装着時において通信回線異常の検出タイミングが変更でき、エラー発生時には、インバータ本体の動作選択ができます。

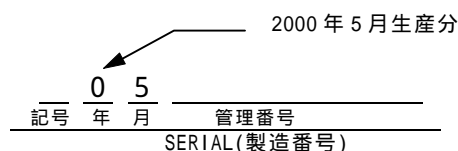
詳細は裏面の「4. 追加機能の詳細」を参照ください。

2. 識別方法

本バージョンアップ品は、インバータ本体の定格銘板及び梱包の銘板に記載されている SERIAL (製造番号) が下記の記号以降となります。

(梱包銘板の SERIAL (製造番号) はインバータ本体の定格銘板の SERIAL (製造番号) 9 文字のうち上位 6 文字を表示します。)

形 式	SERIAL (製造番号)
FR-A520-0.4K / 0.75K	L 0 5
FR-A520-1.5K ~ 3.7K	R 0 5
FR-A520-5.5K / 7.5K	P 0 5
FR-A520-11K	L 0 5
FR-A520-15K ~ 22K	M 0 5
FR-A520-30K	X 0 5
FR-A520-37K ~ 55K	Y 0 5
FR-A540-0.4K ~ 3.7K	H 0 5
FR-A540-5.5K / 7.5K	J 0 5
FR-A540-11K ~ 22K	D 0 5
FR-A540-30K	R 0 5
FR-A540-37K ~ 55K	S 0 5



インバータ本体の定格銘板に記載されている SERIAL (製造番号) はこのように記号 (アルファベット) 1 文字と製造年月 2 文字、管理番号 6 文字で構成されています。

3. 製品切換時期

2000年5月生産分より順次反映します。

発行 日付	2000年5月	件 名	汎用インバータ FREQROL-A500 シリーズバージョンアップのお知らせ	三菱電機株式会社名古屋製作所 〒461-8670 名古屋市東区矢田南 5-1-14 (052)721-2111 大代表
----------	---------	--------	--	---

4 . 追加機能の詳細

(1) RS-485 通信運転時アクセス先選択機能の追加

インバータの PU コネクタから RS-485 通信運転にてパラメータの読み書きを行った場合、E²PROM へアクセスするか、RAM へアクセスするかを Pr.342 (E²PROM 書込み有無) で選択できます。パラメータを頻繁に変更する場合は、RAM へ書込んでください。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値	内容
342	0,1	1	0	0:E ² PROM へアクセス 1:RAM へアクセス

(2) エラー内容にオプション異常(E.1~E.3)の追加

インバータに内蔵通信オプション装着時、「インバータ本体と通信オプション間のコネクタ部の接触不良」や「通信オプション自体の異常」などが発生した場合には「E.1~E.3」を表示し、インバータの出力を停止します。(1~3はオプションのロット番号を示します。)

(3) 通信用内蔵オプション装着時のエラー検出機能の追加

通信運転時に異常が発生した場合のインバータ本体の動作が Pr.500(通信エラー実行待ち時間), Pr.501(通信異常発生回数表示), Pr.502(異常時停止モード選択) で選択できます。

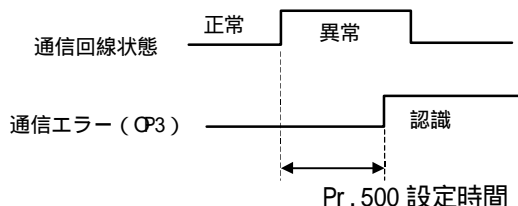
Pr.500 「通信エラー実行待ち時間」

通信回線異常発生から通信エラーまでの待ち時間を設定できます。

通信回線異常が発生し、Pr.500 の設定時間を経過しても正常状態に復帰しない場合、通信エラーと認識します。

設定時間中に正常な通信として復帰した場合は、通信エラーとせず運転を継続します。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
500	0~999.8s	0.1s	0s



Pr.501 「通信異常発生回数表示」

通信異常発生累積回数を知ることができます。0 を書込みますと、この累積回数が消去されます。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
501	0	1	0

Pr.502 「異常時停止モード選択」

通信回線異常または通信用内蔵オプション自体の異常が発生した場合のインバータ動作が選択できます。

パラメータ番号	設定範囲	最小設定単位	工場出荷時設定値
502	0, 1, 2	1	0

異常内容	Pr.502 設定値	異常発生時			Pr.500 経過後エラー認識			異常解消時		
		動作状態	表示	異常出力	動作状態	表示	異常出力	動作状態	表示	異常出力
通信回線 (E.OP3)	0	継続	なし	出力しない	フル停止	E.OP3 点灯	出力する	停止状態継続	E.OP3 継続	出力継続
	1	継続	なし	出力しない	減速停止	停止後 E.OP3 点灯	停止後出力する	停止状態継続	E.OP3 継続	出力継続
	2	継続	なし	出力しない	減速停止	停止後 E.OP3 点灯	出力しない	再始動	通常表示	出力しない
内蔵オプション自体 (E.1~3) *	0	フル停止	E.1~3 点灯	出力する	フル停止	E.1~3 点灯	出力する	停止状態継続	E.1~3 継続	出力継続
	1	減速停止	停止後 E.1~3 点灯	停止後出力する	減速停止	停止後 E.1~3 点灯	停止後出力する	停止状態継続	E.1~3 継続	出力継続
	2	減速停止	停止後 E.1~3 点灯	停止後出力する	減速停止	停止後 E.1~3 点灯	停止後出力する	停止状態継続	E.1~3 継続	出力継続

(*: 1~3はオプションのロット番号を示します。)